

平成27年度  
太宰府市家庭系生ごみリサイクル  
社会実験事業報告書

太宰府市

平成28年3月

## 目 次

1. はじめに	1
2. 社会実験事業の概要	2
3. 社会実験事業の実績	6
1) 生ごみの収集・運搬	6
2) 事業費	8
3) 参加世帯の意見	9
4. 成果と課題	18

---

## 参考資料

1. 参加世帯募集チラシ	19
2. 説明会資料	21
3. アンケート調査票	26
4. 生ごみステーション配置図	28
5. 収集運搬作業風景	29

## 1. はじめに

---

我が国におけるこれまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会状況が続いていけば、天然資源の枯渇や廃棄物処理の限界を迎えることとなり、社会経済の持続可能な発展を妨げるおそれがあります。

こうしたことから、環境負荷を低減する循環型社会の構築を実現するために、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組む必要があります。

太宰府市においても、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、地域に適したリサイクルシステムを模索しつつ、段階的に生ごみリサイクルの輪を広げていくとともに、生ごみリサイクルに対する市民意識の向上を図るために、太宰府市に適した都市型の家庭系生ごみリサイクルシステムを検討するにあたって、具体的なモデル事業の実施及び検証を行う必要があります。

## 2. 社会実験事業の概要

---

### 1)目的

家庭系生ごみリサイクル社会実験事業は、循環型社会の構築に向けたごみの減量やリサイクルの推進にあたって、将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、本市に適した生ごみリサイクルシステムの検討のための第一歩として、平成25年度・26年度に引き続き平成27年度も実施するものです。

具体的には、①排出者である市民に担っていただく生ごみの分別・ごみ出しなどの問題や、②太宰府市が行う生ごみの収集・処理の問題、③生ごみをリサイクルして生成された肥料の活用方法、④事業コストなど実際に実施してみないとわからない具体的な課題を抽出するために、試験的に生ごみの分別収集及び収集した生ごみの堆肥化を行ったものです。

### 2)参加世帯

本事業には59世帯に参加いただきました。

生ごみを分別収集する上での様々な課題を明らかにすることが目的であることから、様々な生活スタイルの市民に参加していただくことが予想される坂本区において実施することとし、募集チラシの配布等にて坂本区内に広く参加世帯を募りました。

### 3)実施期間

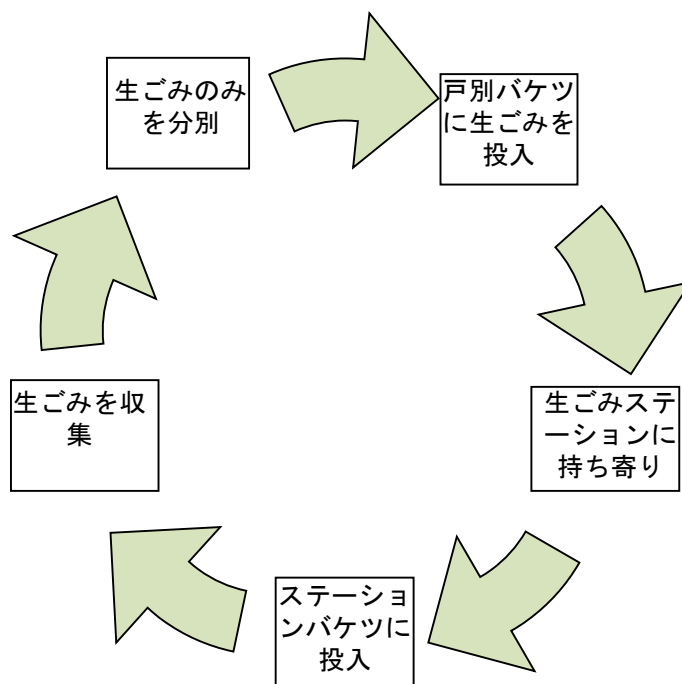
事業実施期間は平成27年6月2日(火)から平成28年2月26日(金)です。

ごみ収集の課題は季節によって異なることから、上記の夏から冬の期間にて実施しました。

#### 4)参加世帯における生ごみの分別と持ち出し

生ごみの分別については、各世帯において市が無料で提供する蓋付き密閉型バケツに生ごみのみを分別していただきました。また、生ごみの腐敗や悪臭防止のために、投入の際に極力水切りを行っていただきました。

生ごみの持ち出しについては、徒歩圏域に設定した生ごみステーションまで持ち寄っていただき、収集前日に設置する生ごみステーションバケツに投入していただきました。



生ごみの分別と持ち出しのイメージ

#### 5)生ごみの収集

生ごみ分別収集等における課題を抽出するという本事業の目的から、生ごみの収集については、太宰府市が直営で行い、収集作業については、嘱託職員2名を中心に行いました。

##### (1)生ごみステーションバケツの配置

半径約50m圏域に1ヶ所の生ごみステーションを10ヶ所設定し、収集日前日の16時頃の中にポリ袋を張った状態の生ごみステーションバケツを設置しました。

##### (2)収集の方法

生ごみの入ったステーションバケツをトラックで回収し、ステーションバケツのまま収集し、市役所において生ごみが入ったポリ袋をまとめました。



### (3)収集時間と収集曜日

朝の9時以降に収集を行いました。

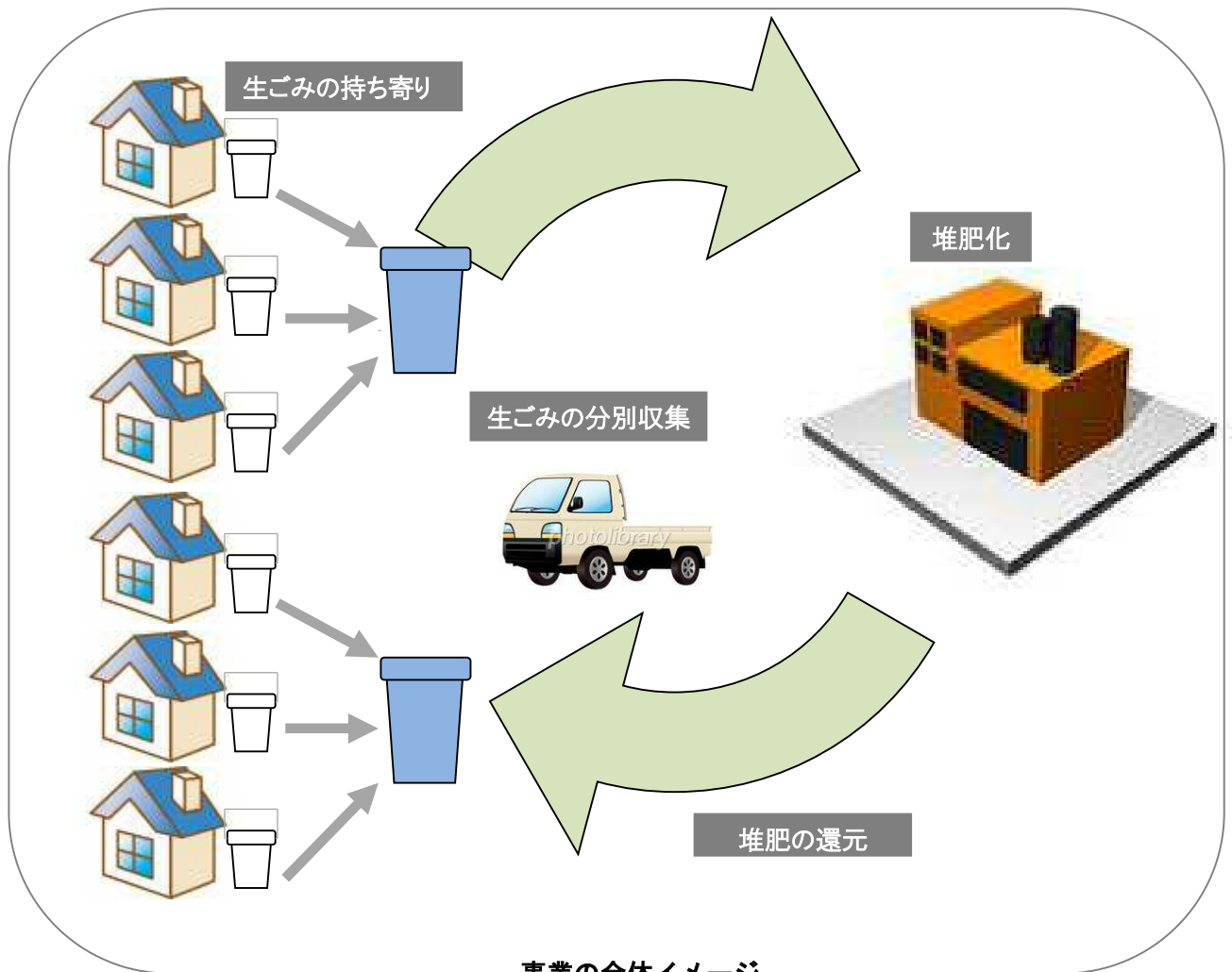
また、収集頻度については、生ごみの腐敗悪臭防止のために週に2回とし、祝日等に収集に影響が出にくい火曜日・金曜日とした。



生ごみが入ったステーションバケツを収集する作業員

## 6)生ごみの堆肥化

本モデル事業で収集した生ごみを一括してリサイクル処理できる施設は太宰府市内には無く、本市から最も近い位置にて安定した生ごみをリサイクル処理することができる有限会社鳥栖環境開発総合センター(佐賀県鳥栖市)に、収集した生ごみを搬入し堆肥化を委託しました。



## 7) 参加世帯への還元

生ごみを「資源」としての地域循環を行うことが重要であることから、参加世帯には生ごみから生成された肥料と花の種を還元しました。



参加世帯に還元した生ごみから生成された肥料と花の種

## 8) 事業スケジュール

	H27年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
堆肥化施設との協議	↔											
堆肥化処理施設所在市との協議	↔											
対象地区との協議	↔											
参加世帯の募集	↔											
参加世帯説明会		●●										
生ごみの分別収集と堆肥化			←									→
アンケート調査											↔	
参加世帯意見交換会												●
課題の集約											↔	

### 3. 社会実験事業の実績

#### 1) 生ごみの収集・運搬

##### (1) 収集回数と排出世帯数

70回、延2,728世帯(8,980人)の生ごみ収集を行いました。1回の収集に平均で39.0世帯が生ごみを排出、15.8世帯は未排出でした。

月	収集回数	延排出世帯数	1回あたり排出世帯数	延排出世帯人数	延未排出世帯数	1回あたり未排出世帯数
6月	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	9	422	46.9	1377	109	12.1
7月	-	-	-	-	-	-
	9	292	32.4	918	54	6.0
	9	328	36.4	1044	105	11.7
8月	4	152	38.0	472	28	7.0
	8	222	27.8	624	34	4.3
	7	211	30.1	642	65	9.3
9月	8	346	43.3	1,136	91	11.4
	8	316	39.5	1,016	52	6.5
	7	299	42.7	1,005	114	16.3
10月	9	388	43.1	1,292	125	13.9
	9	353	39.2	1,125	62	6.9
	9	383	42.6	1,282	148	16.4
11月	8	349	43.6	1,137	107	13.4
	7	281	40.1	896	49	7.0
	7	283	40.4	955	130	18.6
12月	8	325	40.6	1,038	107	13.4
	7	272	38.9	840	49	7.0
	7	274	39.1	901	119	17.0
1月	-	-	-	-	-	-
	8	293	36.6	966	83	10.4
	7	238	34.0	799	135	19.3
2月	-	-	-	-	-	-
	8	327	40.9	1,063	65	8.1
	8	290	36.3	975	182	22.8
計	37	1,560	(平均) 42.2	5,075	458	(平均) 12.4
	64	2,356	(平均) 36.8	7,448	448	(平均) 7.0
	70	2,728	(平均) 39.0	8,980	1,107	(平均) 15.8

上段赤字:H25年度

中段青字:H26年度

下段黒字:H27年度



(2)生ごみ排出量

延べ3,970kg、収集1回あたり56.7kg、1世帯1回あたり1,455.3gの生ごみが排出されました。これは、1世帯が1日に415.8g、1人が1日あたり126.3gの生ごみを排出した計算になります。

月	排出量【kg】	1回あたり排出量【kg】	1世帯1回あたり排出量【g】	1世帯1日あたり排出量【g】	1人1回あたり排出量【g】	1人1日あたり排出量【g】
6月	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	560	62.2	1327.0	379.1	406.7	116.2
7月	-	-	-	-	-	-
	510	56.7	1746.6	499.0	555.6	158.7
	450	50.0	1372.0	392.0	431.0	123.2
8月	250	62.5	1,644.7	469.9	529.7	151.3
	470	58.8	2,117.1	604.9	753.2	215.2
	380	54.3	1,800.9	514.6	591.9	169.1
9月	510	63.8	1,474.0	421.1	448.9	128.3
	470	58.8	1,487.3	425.0	462.6	132.2
	400	57.1	1,337.8	382.2	398.0	113.7
10月	640	71.1	1,649.5	471.3	495.4	141.5
	530	58.9	1,501.4	429.0	471.1	134.6
	520	57.8	1,357.7	387.9	405.6	115.9
11月	610	76.3	1,747.9	499.4	536.5	153.3
	550	78.6	1,957.3	559.2	613.8	175.4
	430	61.4	1,519.4	434.1	450.3	128.6
12月	520	65.0	1,600.0	457.1	501.0	143.1
	490	70.0	1,801.5	514.7	583.3	166.7
	420	60.0	1,532.8	438.0	466.1	133.2
1月	-	-	-	-	-	-
	550	68.8	1,877.1	536.3	569.4	162.7
	400	57.1	1,680.7	480.2	500.6	143.0
2月	-	-	-	-	-	-
	500	62.5	159.1	436.9	470.4	134.4
	410	51.3	1,413.8	403.9	420.5	120.1
計	2,530	68.4	1,621.8	463.4	498.5	142.4
	4,070	63.6	1,727.5	493.6	546.5	156.1
	3,970	56.7	1,455.3	415.8	442.1	126.3

上段赤字：H25年度

中段青字：H26年度

下段黒字：H27年度

(3)収集運搬作業に要した時間

収集運搬作業に要した時間は、ステーションバケツの配置などの前日準備が59分、収集が33分、運搬が75分、後片付けやデータ整理に18分、合計185分でした。

平成26年度と比較すると、作業に従事する人員を見直したことで、11.8%効率的に作業を行うことができました。

区間	作業員	前日準備	収集	運搬	その他	合計
H25年度	2人	-	92分	76分	80分	248分
H26年度	2人	41分	34分	72分	30分	177分
H27年度	1人	31分		75分	18分	124分
	2人	28分	33分			61分

## 2)事業費

本事業に要した総事業費は1,029,529円でした。本年度は前回と同じステーション収集を行うことで、初期投資を要しなかったため、ランニングコストは1,029,529円となり、これは生ごみ1kgあたりに259.3円の処理費用を要したことになります。

平成26年度は、生ごみ1kgあたりに135.0円の費用がかかっており、平成26年度と比較すると、作業効率は上がったものの、作業員が嘱託職員に変更したことにより賃金が増えたため、1kgあたりの処理費用が増額となりました。

なお、参考として、現在、福岡市に委託しているごみの焼却と焼却灰の埋立費用と、ごみ収集運搬に係る費用を合計すると44.0円であり、単純に比較すると、今回の生ごみリサイクルの費用は焼却処理よりも約6倍の経費を要しました。

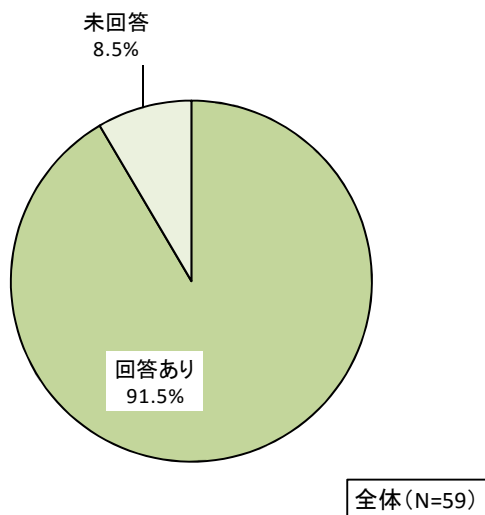
仮に平成26年度と同じ賃金として計算した場合でも、生ごみ1kgあたりの処理費用は111.0円となり、それでも焼却処理よりも2.5倍の経費を要したことになります。

事業費目	事業費内容	事業費【円】
人件費	賃金：176,000円×2人×9月×0.2689＝851,875円	851,875
消耗品費	ポリ袋、デッキブラシ、ふせん：14,921円 コム手袋、消臭剤、ビニールテープ：1,285円 全天テープ、除菌ティッシュ、ごみ袋：5,286円	21,492
燃料費	50km×70日÷8km×156円＝68,250円	68,250
堆肥化処理費	3,970kg×20円×1.08＝85,752円	87,912
	計	1,029,529

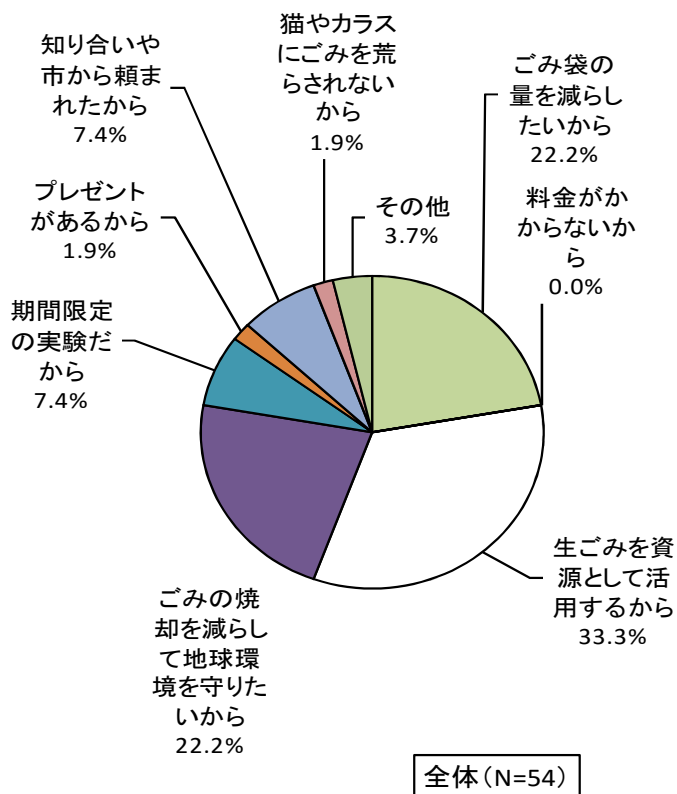
### 3)参加世帯の意見

#### (1)アンケート調査

事業参加全世帯(59 世帯)を対象にアンケート調査を行ったところ、54 世帯(91.5%)の回答がありました。



#### 問1. 生ごみサイクル社会実験に参加された理由は何ですか(○は1つ)

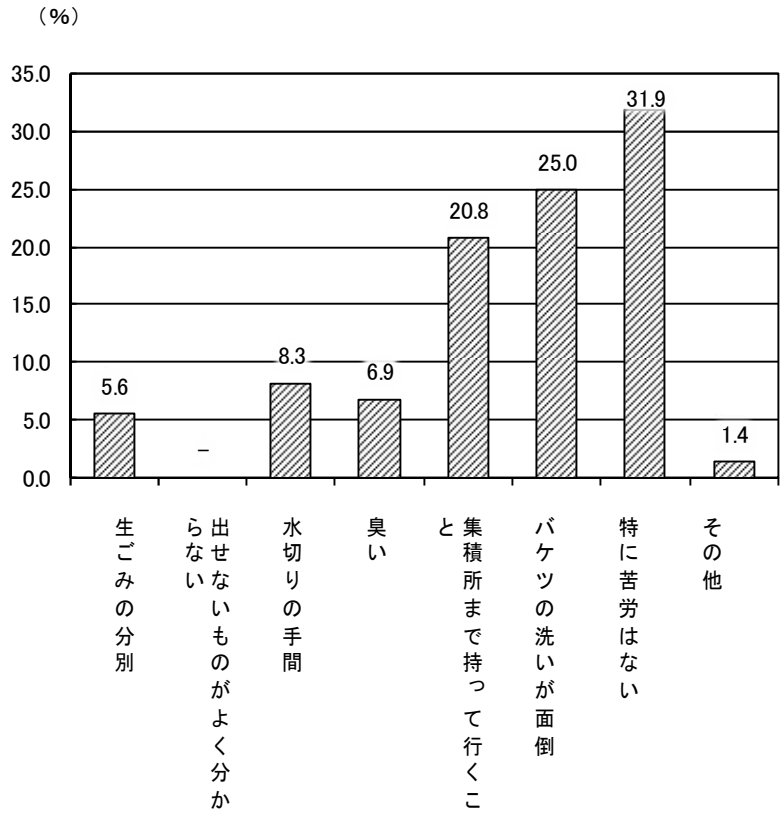


#### 9. その他の回答理由

- ・家でも生ごみを土に混ぜたりしているから
- ・団体として参加したいから

問1-1. 問 2. 生ごみを分別することで、苦勞した点は何ですか(○はいくつでも)

・特に苦勞はない(31.9%)  
 ・バケツの洗いが面倒(25.0%)  
 ・集積所まで持って行くこと(20.8%)

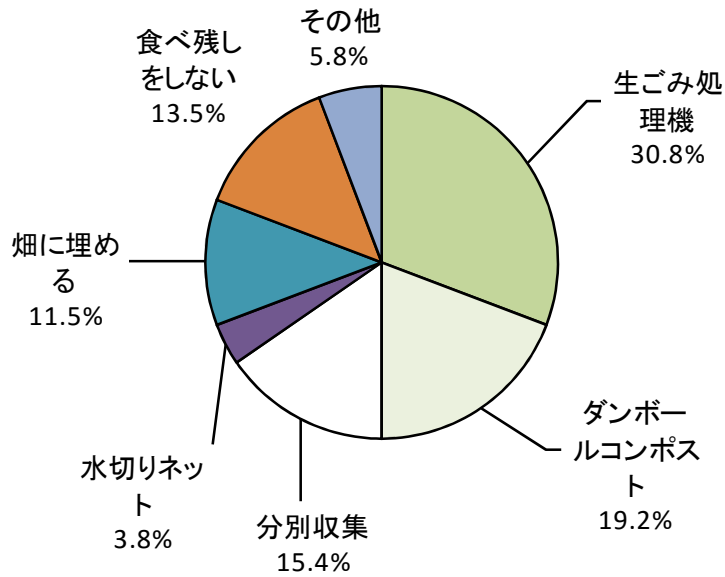


8. その他の回答理由

- ・朝バタバタしていてもっていくのを忘れる

問 3. 生ごみの減量にもっとも有効な方法は何だと思えますか(○は1つ)

- ・生ごみ処理機(30.8%)
- ・ダンボールコンポスト(19.2%)
- ・分別収集(15.4%)

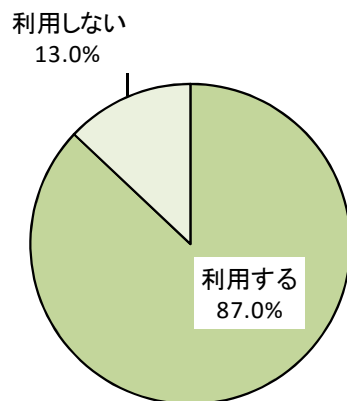


全体(N=52)

7. その他の回答理由

- ・分からない。一長一短で難しい。
- ・分かりません。
- ・木製コンポストを使っています。

問 4. 生ごみから作った堆肥を利用しますか(○は1つ)



全体(N=54)

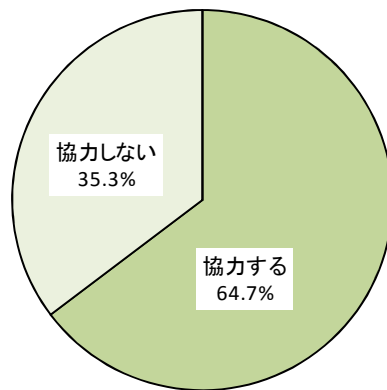
問 4-1. (問 4 で「1.利用する」と答えた方のみお答えください)生ごみから作った堆肥をどのように利用しますか。

- プランターで花、野菜作り
- 畑に使用する
- 家庭菜園の肥料
- 植物への肥料
- 野菜の肥料
- 花壇やプランターの土(古い土)など耕した時に土に混ぜたり時々利用する
- 化学肥料と併用して活用。どこで売っているのか等の情報のPR
- 実家の庭で野菜を育てているので、プレゼント
- コンテナや鉢の肥料に
- 野菜づくりに利用(幼稚園でも家でも使っています)

問 4-2. (問 4 で「2.利用する予定がない」と答えた方のみお答えください)その理由は何ですか。

- 畑(庭)がない
- どう利用したらいいかわからず
- 使用しないから
- 様々な家庭から出た生ごみが入っているので、どのような状態だったか気になる。
- 無農薬、有機栽培を理想としているから

問 5. 生ごみ収集が有料になっても分別に協力できますか。また、その理由は何ですか  
(○は1つ)



全体(N=51)

#### 理由(協力する)

燃えるごみがすごく減ってるから 有料っていくらくらい？  
焼却を減らし地球環境が守れるなら協力したい  
ネコやカラスからごみ袋が荒らされることがないので助かります  
料金による(今までは畑に埋めていた)  
畑があるところは埋めてもいいが、出来ないところは夏場など困る  
ごみが減らせるから しかしごみ袋代と収集の料金で比べて安ければ  
地球環境を守りたいので、額面にもよるが協力する  
捨てればごみ、有効に活用すれば資源堆肥になる。  
但し、家の前まで回収してもらえるのであれば協力できる。  
子どもたちの未来を考え、少しでも環境を守る行為がしたいから  
燃えるごみ出しの際臭くなかった。ごみ袋が軽くてよかった。  
料金にもよりますが、この取組が続けばよいと思います。  
地球環境のためには必要なこと。ゴミについて意識を高めるためにも大事。

#### 理由(協力しない)

そこまでは・・・  
自宅でダンボールコンポストで処理するから  
自分でも生ごみ処理をしているから  
お金をかけてまでは分別しないと思う  
有料によると家計にひびく  
税金で対応してほしい  
有料なら今までどおり燃えるごみに出します。すみません。

問 6. 生ごみリサイクル社会実験について、お気づきの点、ご意見件等ございましたらご記入下さい。

本当にごみが少なくなって助かりました。

集積所までの距離が近いほど助かる。

継続していただき、周辺の方々も参加し分別への意識が高まることを願っています。

収集、分別される方が大変だったと思います。ありがとうございました。

生ごみを捨てる時に全て“見えて”しまうので、廃棄の際、入り口を小さくして見えないようにしたらいいと思います。

少しずつ慣れてきたので、他の方のアイデアも聞きたい。

綺麗にごみ出しするため情報交換を定期的にする必要があるかもしれない。

収集される職員の方、ご苦労様でした。

バケツに新聞紙をひいて、水分をしぼったりして、そこに汚水がたまらないように努力して、夏を気持ちよく乗り越えました。

実証実験を通じて、いかに家庭ごみ内に生ごみの占める割合が大きいかわかりました。

分別することで、ごみに対する家族の意識も変わったようです。

生ごみを分別することで、通常の可燃ごみを出す回数が2分の1か3分の1の頻度に減らすことができました。

ダンボールコンポストは、肥料目的でなくても、マンション等でもシール容器(今回のバケツ等)で小スペースでも生ごみ分解ができると思います。

焼却ごみが減って大変助かりました。

ごみ袋も燃えるごみだけだったので、1ヶ月3~4回で済みました。

回収がとても大変だと思いました。かかる時間と手間を考えると、生ごみ処理機の利用とか、具体的に個体での処理能力を考える時期に来ていると思います。

もっと広報紙で宣伝して、各世帯への理解を深めてはどうでしょうか。

生ごみが出ないので、ごみが減少しました。

赤いごみ袋がとても軽くなった。分別が面倒と思っていたが、今では面倒でなくなった。

アパートではバケツを置くスペースと洗う場所がなく、後半はバケツを利用せず、ビニールと水切りネットを使用し参加致しました。

生ごみの他にプラスチックのリサイクルもいずれ太宰府でも分別してほしいと思います。

分別は3か月くらいで慣れました。全体でするのはなかなか厳しい？

バケツの水きりをもっとよくする工夫

ダンボールコンポストでなかなか都合よくできません。1年間ありがとうございました。

足の悪い人などもあると思うので、各家で収集してもらえると助かると思います。

できれば続けて欲しいが、有料になるとすればどのくらいかかるのかによって協力は考えると思う。

分別が大変な面もありましたが、家庭のごみ量が大幅減り、ごみ削減の効果を実感しました。ありがとうございました。

ごみに対するモラルは悪化しています。ごみ袋に入れてしまえば、後はどんな風に処理され



ているか考えないようになっていきます。一人ひとりの責任でも考え方を考えることによってごみは資源にかわるのに。捨てる前に、買う前に考えることが大事。そんなきっかけになると思います。収集や分別をしてくださった方お疲れ様でした。

この実験が今後どのようにつながり発展していくのか興味があります。

生ごみ別に分けることで、「今回は少ないな。もっと野菜をたべなきゃ」と気づくことがあったり、ごみの量をかなり減らすことができ、ごみ袋の節約になりました。

慣れたらなんてことないのですが、一度習慣から外れるとなかなか辛く、前回は取り組めたのに、今回はあまり取り組めず申し訳なかったです。

出来れば続けて欲しかったです。堆肥は必要ありませんが、ごみの軽減にもなりますし、夏場、バケツへ生ごみを入れておけば臭いも気にならなかった。

生ごみの回収には人件費などもかかり大変でしたでしょうが、とても助かりました。環境にも良いと思いますので、続けていただけるといいなと思いました。ありがとうございました。

## (2)参加世帯意見交換会

生ごみリサイクルが終了した後に、坂本区公民館において参加世帯から意見を伺いました。

### <減量効果について>

- ・ ゴミ袋を使う量や袋に入れる量が減った
- ・ 生ごみを分別することで、袋が軽くなったり、出す頻度が減った

### <意識啓発について>

- ・ この社会実験に参加していない人たちに対して、意見も聞いてみてはどうか

### <臭い対策について>

- ・ バケツがあったことで、夏場に生ごみを分けれたので、臭いは気にならなかった。

### <ステーション回収について>

- ・ ステーションは近いほうが出しやすい
- ・ バケツに番号シールがないときがあった（夜に出すとシールが見えにくかったので間違えて別の人が剥がしたかも）
- ・ アンケートでバケツ内の生ごみの中身が見えてしまうという意見があったが、夜に出していたのであまり気にならなかった
- ・ この事業を理解して参加したので、バケツの中身が見えてしまうということは気にならなかった
- ・ 数世帯が利用しているバケツで何度も生ごみを投入すると、バケツを置いている家に迷惑ではないかと考えてしまった

### <共同住宅について>

- ・ 集合住宅は、肥料の活用やバケツを洗うことに苦勞する
- ・ 生ごみの臭いが他の世帯に影響していないかということも考えてしまう
- ・ マンション住民の協力を得るのが難しい面もある

### <今後について>

- ・ 社会実験をほかの地区ですること、違った意見や方法が出てくるのではないか
- ・ 今後は集合住宅での分別方法の検討や理解をしてもらうことが重要ではないか
- ・ 肥料を市民農園などで活用してみてもどうか

### <家庭内での堆肥化について>

- ・ 畑に埋めてみてもいいのでは

## 4. 成果と課題

---

### 1) 成果

本実験の実施により、下記の成果を得ることができました。

- ① 地域と連携した呼びかけにより、平成25年度よりも参加世帯に負担を伴う実験にも多くの世帯に参加いただくことができました。
- ② 実験への参加やアンケートへの回答からも、生ごみリサイクルや資源循環に関する市民の意識の高さがうかがえます。
- ③ 多くの参加世帯からこの事業の継続を支持されました。
- ④ 生ごみの分別収集により、可燃ごみの減量効果が高いと、参加世帯から評価されました。
- ⑤ 生ごみの分別については、慣れればそう難しくないとの意見が多く聞かれました。
- ⑥ 生ごみの腐敗と臭いが最も厳しい夏場においても、この実験方法で大きな問題なく実施することができました。
- ⑦ 生ごみステーションバケツまでのごみの持ち出しについても、50m以内であればほとんどの方に理解をいただけることがわかりました。
- ⑧ ステーション回収を行うことにより、戸別回収よりも約30%の作業時間の短縮と約10%のコストダウンを行うことができました。
- ⑨ 収集前日に生ごみステーションバケツを配置することで、参加世帯の生ごみ持ち出しが行いやすくなり、ステーション収集の理解を得ることができました。

### 2) 課題

本実験の実施により、今後の生ごみリサイクルの検討にあたって、下記のような課題が明らかになりました。

- ① 25年～30年後の将来のごみ焼却処理施設の老朽化や建替えの時期を見据え、焼却ごみの減量、焼却灰の埋立量の減量といった将来の環境負荷の軽減、また、焼却炉の規模の縮小と建設経費の軽減を目指し、今の時期から生ごみリサイクルとその循環について、どういったことができるかを検討することを目的とした実験の必要性を、関係者が明確に共有する必要があります。
- ② 安全で高品質の生ごみの堆肥化のためには、異物の混入を防止し、高い分別精度が求められ、また、そのための参加世帯への周知方法の検討が求められます。
- ③ 将来の環境負荷軽減等が目的とはいえ、通常の可燃ごみ処理よりもコストが3倍近くかかっているため、より効率の良い方法の検討が求められます。
- ④ 共同住宅での実施については、他の入居世帯、管理組合や管理会社等の理解に配慮する必要があります。
- ⑤ 生ごみを地域内で花や農作物として循環する仕組みの検討が必要です。

## 參考資料



## 1. 参加世帯募集チラシ

**参加者募集!**

大好評でしたので、今年も行います!

# 坂本だけの 生ごみリサイクル 社会実験! 第3回

参加世帯には生ごみからできる有機肥料と花の種をプレゼント!!

昨年度と同じ方法で行います!  
今回も、前日に置いておく大きなバケツに、生ごみをお持ち寄りいただく方法となります。

- ◇募集期間 4月24日(金)～5月15日(金)
- ◇募集世帯 100世帯(申込み多数の場合は抽選となります)
- ◇実施期間 平成27年6月～平成28年2月
- ◇申込方法 申込用紙を切り取って、武藤自治会長か隣組長に持参するか、市役所生活環境課に電話でお申込み下さい。

詳しい説明会を5月中旬頃に予定していますので、参加申し込みいただいた方に別途ご案内します。

問い合わせ先: 太宰府市 地域健康部 生活環境課 ごみ対策係 担当: 大石、林 TEL: 921-2121

### ----- きりとり線 ----- 申 込 用 紙

名前		電話番号	
住所		世帯人数	人

詳細は裏面をご覧ください

# 生ごみリサイクル社会実験って何？！

## ■全世帯が参加しなければならないの？

いいえ。参加を希望される世帯のみを対象に行う実験事業です。

## ■どうやって生ごみを分ければいいのか？

臭いがもれない密封できるフタ付きの容器を市から無償でお配りします。その容器に生ごみだけを入れて分別して下さい。

## ■どこに生ごみを出せばいいのか？

坂本区内に、100メートルに1箇所程度、生ごみ収集用の大きなバケツを設置しますので、そこまで生ごみをお持ち寄り下さい。

## ■いつ生ごみは収集されるの？

毎週火曜日と金曜日の朝9時以降に市の職員がトラックで生ごみを収集します。

## ■いつ生ごみを出せばいいのか？

収集日の前日の夕方に生ごみ収集用のバケツを設置しますので、  
・月曜日の夕方から火曜日の午前9時まで  
・木曜日の夕方から金曜日の午前9時まで の時間帯に生ごみを出して下さい。

## ■参加世帯の手間になることは？

生ごみを容器に入れる時にできるだけ水を切ってくださいと、生ごみ収集用バケツの設置場所まで生ごみを持ち寄ることについては、各世帯においてお願いいたします。それと、後日実施するアンケートにご協力をお願いいたします。

## ■参加世帯で費用がかかることは？

生ごみを入れる容器は市から無償でお配りします。費用は一切かかりません。

## ■収集した生ごみはどうなるの？

堆肥化施設において肥料にし、参加世帯には肥料を後日プレゼントさせていただきます。



生ごみからできる有機肥料



密封型生ごみ分別バケツ



## 生ごみリサイクル社会実験の実施方法

### 1. 実験の実施期間

平成27年6月 2日（火）から  
平成28年2月26日（金）までの期間で実施します。

### 2. 生ごみの持ち出し

(1)持ち出し日時

月曜日の夕方から火曜日の午前9時まで  
木曜日の夕方から金曜日の午前9時まで  
に生ごみを出して下さい。

※別紙カレンダーをご参照ください。

※生ごみ収集休み：

8月14日	（金）
9月22日	（火）
9月25日	（金）
11月 3日	（火）
12月25日	（金）
12月29日	（火）
1月 1日	（金）



## (2)持ち出し場所

月曜日と木曜日の夕方に設置する**生ごみステーション**バケツまで**生ごみ**をお持ち寄り下さい。

※別紙の地図と写真をご覧ください。

## (3)持ち出しの方法

生ごみステーションバケツに**生ごみ**だけを投入して下さい。

※**生ごみ以外のごみは、通常の夜のごみの収集に出して下さい。**

※生ごみを投入した後、**バケツに貼っている番号シール**をお持ち帰り下さい。

※ステーションバケツの利用が1世帯のみの場合はシールはありません。

# 3. 生ごみの収集について

**火曜日と金曜日の午前9時以降に順次、市職員がトラックで生ごみステーションバケツを収集していきます。**

## 4. 生ごみ分別の方法

入れられるもの	入れられないもの
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 野菜くず</li><li>・ 食べ残し</li><li>・ 魚の骨、あら</li><li>・ 鳥の骨</li><li>・ 果物</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 割りばし</li><li>・ つまようじ</li><li>・ スプーン</li><li>・ フォーク</li><li>・ バラン</li><li>・ 水切りネット</li><li>・ 草・花</li><li>・ 落ち葉</li><li>・ 木の枝</li><li>・ 木の实</li><li>・ 調味料だけ</li><li>・ 貝がら</li><li>・ 天ぷら油</li></ul>

※できるだけ水を切ってください。

## 5. その他

(1)生ごみ分別用バケツは、各世帯に1個ずつ配布いたします。

※バケツが1個で足りない場合、バケツの追加はできます。

(2)生ごみ分別バケツに記載している番号は、各参加世帯ナンバーです。

(3)参加世帯には、後日、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

(4)参加世帯には、生ごみからできる有機肥料(15kg)と花の種をプレゼントいたします。

※プレゼントのお渡しは来年の2月を予定しています。

### 3. アンケート調査票

## アンケートにご協力ください

○ご多忙のところ恐縮ですが、実験の主旨をご理解いただき、別紙のアンケートにご協力ください。

○設問にそってご記入いただき、同封の返信用封筒で、  
平成28年2月29日(月)までに、郵便ポストに投函ください。

#### ★ご記入上の注意

1. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をつけて下さい。  
質問文章に「○は1つ」、「○はいくつでも」など指定がある場合は、その指定どおりにお答え下さい。
2. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答え下さい。
3. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）内に具体的にご記入下さい。



## 生ごみリサイクル社会実験アンケート調査

問1 生ごみリサイクル社会実験に参加された理由は何ですか（○は1つ）

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. ごみ袋の利用を減らしたいから  | 2. 料金がかからないから            |
| 3. 生ごみを資源として活用するから | 4. ごみの焼却を減らして地球環境を守りたいから |
| 5. 期間限定の実験だから      | 6. プレゼント（肥料と花の種）があるから    |
| 7. 知り合いや市から頼まれたから  | 8. ネコやカラスにごみを荒らされにくくなるから |
| 9. その他（            | ）                        |

問2 生ごみを分別することで、苦勞した点は何ですか。（○はいくつでも）

- |            |                  |              |
|------------|------------------|--------------|
| 1. 分別が面倒   | 2. 出せない物がよく分からない | 3. 水切りの手間    |
| 4. 臭い      | 5. 集積所まで持って行くこと  | 6. バケツの洗いが面倒 |
| 7. 特に苦勞はない | 8. その他（          | ）            |

問3 生ごみの減量に最も有効な方法は何だと思えますか。（○は1つ）

- |           |               |             |
|-----------|---------------|-------------|
| 1. 生ごみ処理機 | 2. ダンボールコンポスト | 3. 分別収集     |
| 4. 水切りネット | 5. 畑に埋める      | 6. 食べ残しをしない |
| 7. その他（   |               | ）           |

問4 生ごみから作った堆肥を利用しますか。（○は1つ）

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 利用する →問 4-1 へ | 2. 利用する予定がない →問 4-2 へ |
|------------------|-----------------------|

問4-1（問4で「1. 利用する」と答えた方のみお答えください。）

生ごみから作った堆肥をどのように使いますか。

--

問4-2（問4で「2. 利用する予定がない」と答えた方のみお答えください。）

その理由は何ですか。

--

問5 生ごみ収集が有料になっても分別に協力できますか。（○は1つ）

また、その理由は何ですか。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 協力する | 2. 協力しない |
|---------|----------|

（その理由） .....

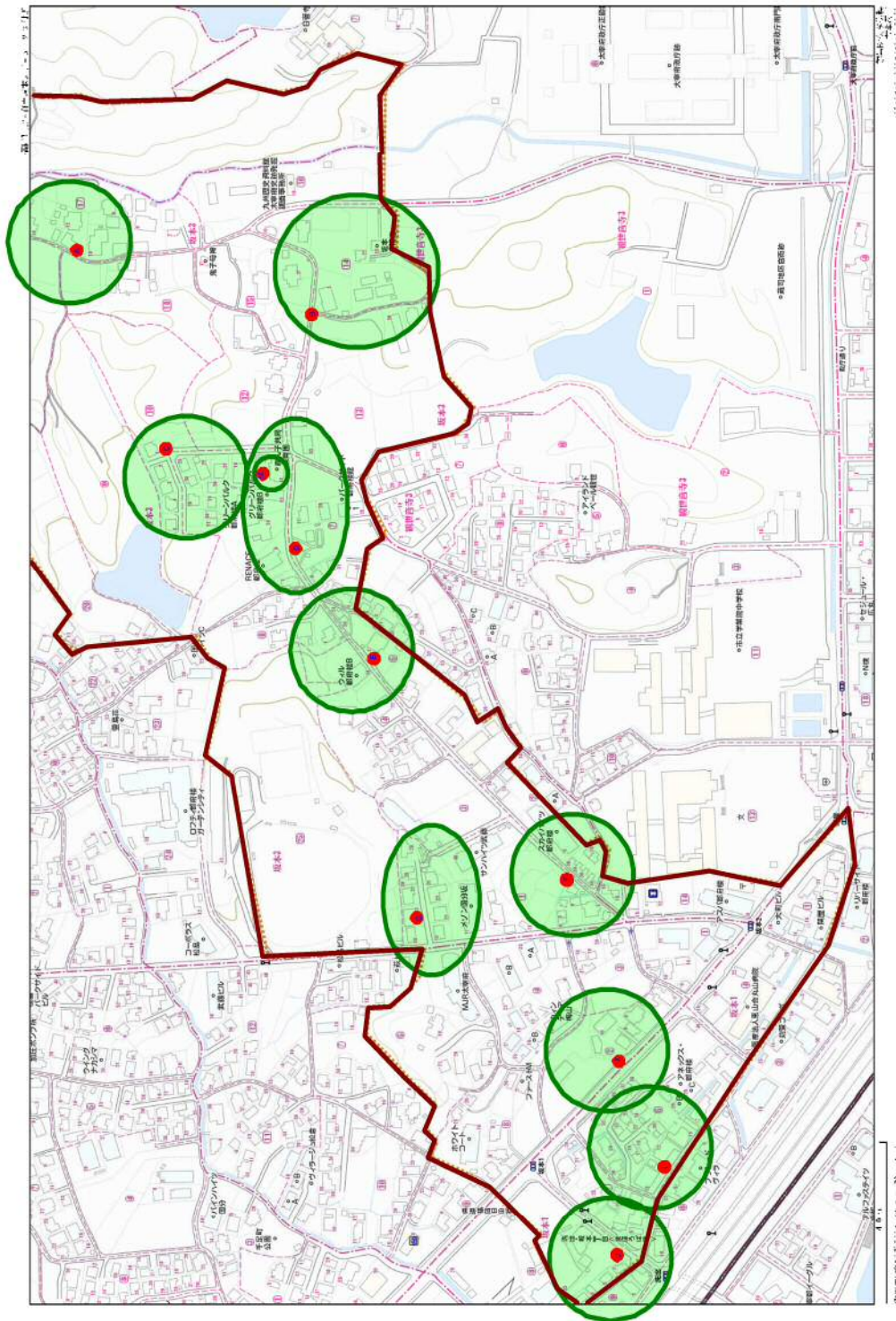
問6 生ごみリサイクルについて、お気づきの点、ご意見等がございましたらご記入下さい。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒で、2月29日（月）までにご投函下さい。

## 5. 生ごみステーション配置図





## 6. 収集運搬作業風景

